

マーケットの動き（2021年1月19日～1月22日）

為替市場は、米ドルは対円で下落（円高）しました。

主要通貨は米ドル安となり、特に欧州通貨を中心に上昇する展開となりました。

ユーロは、対円・対ドルともに上昇しました。

投資環境見通し（2021年1月）

円に対して、米ドルは一進一退の動き、ユーロには上昇圧力が

米ドル：米国では景況感や製造業の業績は堅調さを維持する一方、雇用の回復ペースは鈍化傾向となっています。米ドルは経済情勢を注視しつつ一進一退の動きとなるも、巨額の財政赤字や緩和的な金融政策の長期化見通しを背景に下落圧力がかけやすい状況が続くとみえています。

ユーロ：ユーロ圏景気は堅調さを維持するものの、足元のコロナ禍での社会・経済活動の制限に加え、ドイツでは付加価値税の引き下げ期間終了の影響が懸念されます。ユーロは経常黒字の拡大が進む中、ECBのさらなる緩和余地が限られることもあり、小幅ながら上昇圧力がかけやすい状況が続くとみえています。

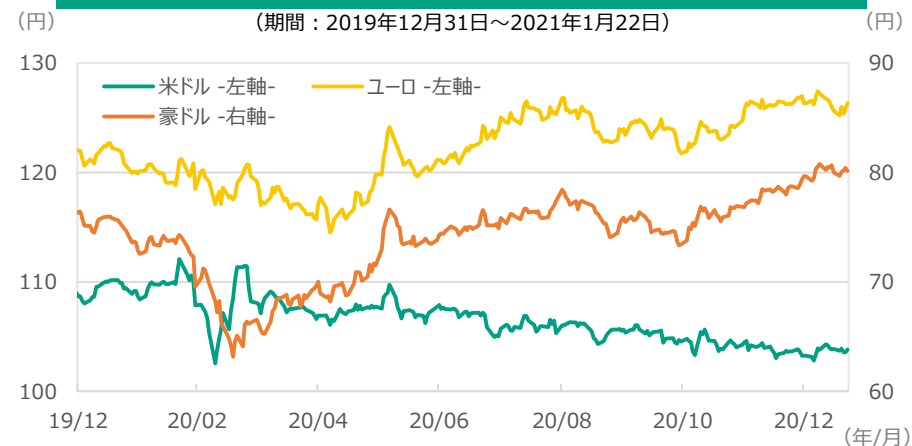
	1月22日	変動幅（円）			
		前週比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
米ドル/円	103.80	▲0.08	0.09	▲3.39	▲6.11
ユーロ/円	126.35	0.74	0.16	2.09	4.62

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

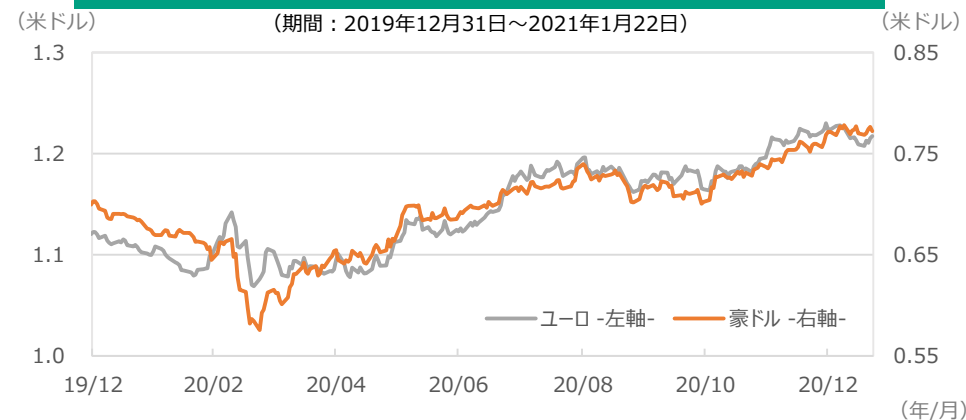
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202101_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>